

至誠館大学

科目名	日本の固有文化Ⅱ			コード		
英語表記						
担当教員名	小川 祐喜子			年度	平成28年度	
基準年次	2年次	開講期	後期	単位数	2	
授業形態	講義	授業形式		履修形態	選択	
授業概要						
文化とは、実体のない理念、信念、価値と実体のある文化を表象するモノ、シンボルなどから構成されている。それらは、ひとつひとつの相互作用から構成されていると言える。そこで本講義では、日本の日常生活の身近な文化を題材に、文化社会学の基礎知識と共に「あたりまえ」とされている日常生活の背後にあるものについて模索しながら、現代社会の文化を捉える視点を養うことを目的とする。						
到達目標						
本授業で身につけた社会学理論、社会学概念などを理解し、理論や概念を使用し社会を見ていく能力を身につけること。						
授業計画						
第1回	文化と社会——相互作用と文化①——					
第2回	文化と社会——相互作用と文化②——					
第3回	イベントと文化①——クリスマスとバレンタイン——					
第4回	イベントと文化②——消費社会とイベント——					
第5回	イベントと文化③——記号と消費社会——					
第6回	労働・結婚・文化①——排除型社会における労働——					
第7回	労働・結婚・文化②——自己実現と労働——					
第8回	労働・結婚・文化③——排除される若者たち——					
第9回	労働・結婚・文化④——恋愛至上主義における結婚——					
第10回	労働・結婚・文化⑤——婚活・労働・文化——					
第11回	ディズニー社会と文化①——ディズニーゼーション化する社会と文化——					
第12回	ディズニー社会と文化②——日本社会とディズニーゼーション——					
第13回	ディズニー社会と文化③——日常生活にみる4つの次元——					
第14回	ディズニー社会と文化④——日本文化とディズニーゼーション——					
第15回	まとめ——文化と社会——					
評価方法と基準		評価項目と割合(%)				
出席数が全講義回数の3分の2以上であることと試験で評価。		出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
			20		80	
授業外学習		テキスト、教材				
授業内で行った内容の復習		特になし				
参考書		受講生へのメッセージ				
宇都宮京子 小川祐喜子編、『社会がみえる社会学——時代と共に生きる社会学理論』, 2015年, 北樹出版, (2,100円＋税)		私語は禁止。スマホなどの使用も禁止。				
キーワード						